

4

2026

三重病院

ニュースレター

news letter vol.315

01 脳卒中患者様の
入院受け入れを始めました

教えて菅田先生! [RSウイルス]

02 2病棟の子どもたちの生活のひとコマ
通所支援事業のひとコマ

異動のごあいさつ

03 5病棟の生活のひとコマ

糖尿病ワンポイントアドバイスNo.20

04 病院からのお願い/外来診察のご案内



脳卒中後の患者様の入院受け入れを始めました

これまで三重病院脳神経内科では、入院患者様は主に神経・筋難病疾患の方を中心に南3病棟で診療を行ってきましたが、今年2月からは、さらに脳卒中後の患者様も入院して頂けるように、新たに北3病棟に脳神経内科病床を増やして入院受け入れを始めました。

脳卒中は、①脳梗塞、②脳出血、③くも膜下出血の3つに代表される脳血管の障害を原因とする疾患で、突然の意識障害や片側の手足の動きにくさ(片麻痺)やしびれ、言葉がうまく話せなくなる(構音障害)などの症状が出現し、多くの場合は救急車などで急性期病院に搬送され入院治療が必要になります。点滴治療や脳血管手術などの急性期治療が行われた後、症状が軽ければ自宅に戻ることができますが、麻痺や嚥下障害などの神経症状が残って直接自宅に戻ることが難しい場合、回復期病院に転院してリハビリテーションを継続するか、療養型病院や施設に入所することになります。ですが、何らかの理由でこれらの施設に移ることが難しい患者様も一定数おられることから、そのような患者様の受け皿となるべく、今回北3病棟に新たに脳卒中病床を開設しました。

■当院のリハビリテーションについて■

医療機関が脳血管疾患や神経筋疾患などの患者様にリハビリを提供する際に、厚生労働大臣が定める人員・設備・運用要件を満たしているかどうかを示す基準として、脳血管疾患等リハビリテーション施設基準があります。基準の詳細は省略しますが、(Ⅰ)～(Ⅲ)の3つある基準の内、リハビリテーションの人員、設備、

運用要件の条件が一番厳しい、脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)を算定できる施設基準を当院は満たしています。

回復期専門病院にあるような最先端の機械類(HALなど)は未整備ですが、脳卒中のリハビリテーションに必要な器具は備えており、また、今回の受け入れ開始を機に、これまで平日のみ行っていたリハビリテーションを土曜日にも行うことが可能となりました。

■当院脳卒中病棟への入院(転院)をご希望される方へ■

まずは現在入院されている病院の地域医療連携担当部署にご相談ください。また、発症後の期間や経過、症状にも依るのですが、一旦退院されて自宅に戻られた方や、施設に入所された方でも、もう少し入院してリハビリテーションを行いたい、というご希望があれば、一度担当のケアマネージャーさんなどを通じて、当院の医療福祉相談室にご連絡下さい。

患者様ご本人、またはご家族の方に当院脳神経内科外来にお越し頂き、診察や面談の内容をもとに入院(転院)の受け入れや、入院の時期をご相談させて頂きます。

地域医療に貢献すべく新たに誕生しました北3病棟脳卒中病床につきまして、皆様のご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

(脳神経内科医長 高島 慎吾)

外来
からの
お知らせ休
診

[脳神経内科] 4/1 (水) … 高島(代診なし)

[歯科・口腔外科] 4/6 (月) … 松村(代診なし)

[眼 科] 4/17(金) … 樋口(代診なし)

当院の都合で急遽休診が出る場合があります。気になるようでしたら、受診当日、当院までお問い合わせください。

三重病院
Instagramこちらから
どうぞ